

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7 (直通) FAX 042-481-7550

email kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



2022年8月
第47号

刊行物登録番号
2022-91

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



オンラインによる夜の昆虫観察会

～おうちで夜の昆虫の世界をのぞいてみよう～

活動報告

開設 10 周年を迎えた都立神代植物公園植物多様性センターとのコラボ企画。7月30日(土)午後7時から8時に、普段は入ることができない閉園後の都立神代植物公園植物多様性センターで、オンライン (Zoom) にて、夜に活動する昆虫類の調査・解説の様子をライブ配信しました。光に集まる昆虫類を捕獲する「ライトトラップ法」という手法を使い、捕獲できた昆虫類の解説を行いました。当日は約 100 人の参加があり、視聴者からの質問コーナーでは、「カブトムシやクワガタのオスはメスより集まりにくいのか※1」や「カマキリは夜に集まらないのか※2」などの質問が寄せられ、講師が解説を行いました。当日の様子は YouTube で視聴可能です。また、質問コーナーの質問・回答の一覧は調布市 HP から確認できます。

残ることが多いです。

- ※2 カマキリは、目が良く、動くものを見つけて捕まえます。そのため、暗くなって獲物が見えなくなる夜はあまり活動していません。ただし、ライトトラップの近くにいた場合は、その明るさで目が見えるため、集まってきた虫を食べに来ることもあります。

- ※1 オスもメスと同じくらい光に集まります。ただし、オスの方が昆虫採集による人気が高く、とられてしまうことが多いことから、メスの方が



イベント当日の様子



イベントの告知チラシ

超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証実験について

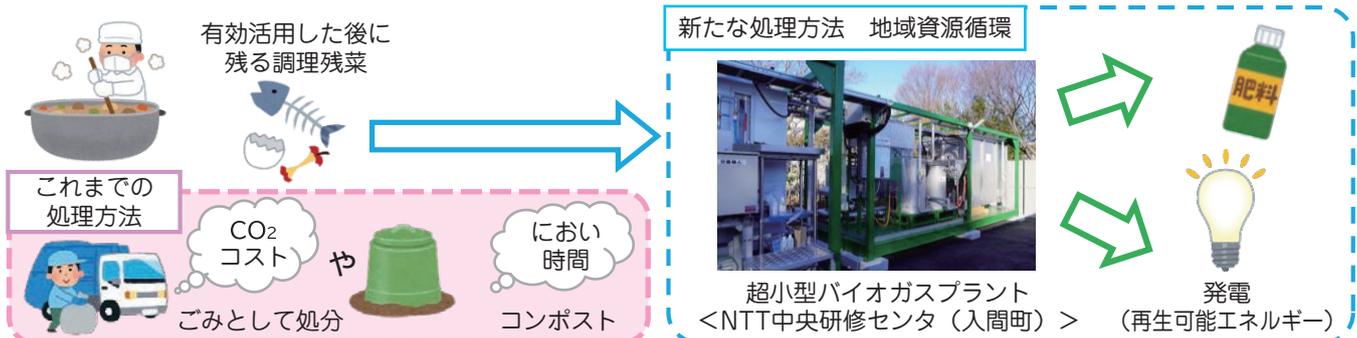
お知らせ

調布市は、食育推進基本計画(平成30年4月)に基づき、学校や保育園等の子ども関連施設や地域コミュニティにおける食に関するイベント等の食育の取組を推進しています。

超小型バイオガスプラントを活用した資源循環モデルを学ぶ取組を進めることとなり、6月23日、調布市立深大寺小学校の児童が、NTT中央研修センターやバイオガスプラントの見学などを実施しました。当日は、給食の調理残菜をバイオガスプラントで処理する様子を見学したり、処理する過程で作られた液体肥料を植物に与えたりしました。

NTT東日本グループでは、市内に立地するNTT中央研修センターにおいて、残菜などから再生可能エネルギーや液肥を創出できる、超小型のバイオガスプラントを導入し、実証実験を行っています。

この度、調布市における更なる食育の推進を目的に、



バイオガスプラントの概要

深大寺・佐須地域の公有地を活用した環境学習

活動報告

市では、深大寺・佐須地域で市が公有化した土地を、里山や農に触れ合える体験型の環境教育の場として活用しており、この取組の一環として、5月22日（日）に田植え体験を実施しました。市報などで参加希望の方を募り、抽選の結果、43人の方々に参加いただきました。

参加いただいた方々からは「是非、来年も子どもと

一緒に参加したい」といった声や、「泥の中がこんなに気持ち良いとは思わなかった」といった声も聞かれ、ご家族で楽しまれている光景が印象的でした。

今年の秋には、育てた稲の収穫イベントを開催する予定です。開催日程等が決まり次第、市報ちようふ等でお知らせします。



田植え体験の様子

政府から節電要請が出されています

お知らせ

今夏の電力需給の厳しい見通しを受け、9月30日までを期間として、「2022年度夏季の省エネ・節電へのご協力のお願い」が政府から出されています。

照明、冷蔵庫、エアコン、テレビが家庭における電気使用量の約6割を占めています。（家庭の省エネハンドブック2022より）

夏は日中の電力需要が非常に多く、中でも電力消費の半分以上を占めているのが、冷房用のエネルギーです。

熱中症に十分注意しつつ、冷房時の室温については28℃を目安に設定、フィルター掃除をするなどして、冷房効果を上げながら無理のない範囲での節電をお願いいたします。

照明

● 不要な照明を、できるだけこまめに消す

エアコン

● 設定温度を下げすぎない

電源

● 長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く

テレビ

● 省エネモードに設定
● 画面の明るさを下げ、必要な時以外は消す

冷蔵庫

● 設定を「強」から「中」に変える
● 食品を詰め込みすぎない

エアコンの冷房効果を上げるポイント

- ① 扇風機を併用する
- ② 室外機のまわりに物を置かない
- ③ フィルターを月に1～2回掃除する



家庭の省エネハンドブック2022 はこちらから

※家庭の省エネハンドブック2022年度版には、様々な「省エネの事例」や「家計のオトク」のヒントが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

太陽光発電設備等取付け等補助 (よりの住まいづくり応援制度)

お知らせ

「よりの住まいづくり応援制度」とは、調布市民の皆様様の居住環境を向上させるため、安全で快適な住まいの確保を応援する制度です。

太陽光発電設備等取付け等補助は、この制度の一つで、環境負荷の軽減と意識の向上を図ることを目的とした次の工事に要した費用の一部を補助しています。

■補助対象工事と補助内容

(1) 太陽光発電設備取付け（太陽光発電設備の設置工事等）

公称最大出力1kw当たり2万5,000円に相当する額で、上限は10万円（1,000円未満切り捨て）

※公称最大出力に1kw未満の端数があるときは小数点第3位を切り捨てた出力が対象

(2) 太陽熱利用機器取付け（太陽熱利用機器の設置工事等）

補助対象工事経費の10%に相当する額で、上限は10万円（1,000円未満切り捨て）

■対象住宅

市内の個人住宅及び併用住宅（新築も可）
※12月28日で受付終了（予算に限りがあるため、締切前に終了する場合があります）。

■問合せ

住宅課住宅支援係 042-481-7545



詳細はこちら

調布市いきものフォトコンテスト2022 作品募集 ～感じよう！生物多様性～ お知らせ

「調布市いきものフォトコンテスト」は、市内の自然環境の再発見と生物多様性への理解を深めることを目的として、多摩川自然情報館を開館した平成22年から毎年開催しています。昨年度は、調布市内の多摩川に生息する野生生物を募集対象とした「多摩川部門」と、調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を募集対象とした「市内部門」の2部門で作品募集を行いました。多摩川部門では19点、市内部門では46点、合計65点の応募をいただき、その中から受賞作品10点を決定しました。

13回目となる本年度も、多摩川や里山など、市内に生息・生育す



応募方法は
こちらから



令和3年度【多摩川部門】
多摩川自然情報館大賞「白装高僧求法図」
はくしょうこうそうくほうず



令和3年度【市内部門】
多摩川自然情報館大賞「水鏡」
すいきよう

雨水浸透ます設置

お知らせ

局地的な豪雨対策と豊かな湧水のために雨水浸透ます設置にご協力ください

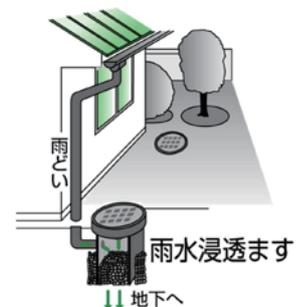
雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水道に流していた雨水を地中に浸透させることで、局地的な豪雨などの大雨時の浸水被害を軽減するとともに、湧水の復活、保全につなげます。植物や魚などの生き物の生息環境を守るためにも、雨水浸透ますの設置にご協力ください。

対象は市内の既存住宅と個人所有の共同住宅で、設置にあたっては、設置可否の下見を行います。設置工事は

半日～1日程度。設置後の所有及び管理は住宅所有者となります。

【設置費用／無料】

お申込み・問合せは、直接または電話、FAX、Eメールで環境政策課へ



雨水浸透ますの設置の様子

コラム 夏の多摩川

今年の夏は、30℃以上の暑い日が続いています。多摩川の水際は木陰もなく、水面や地面からの照り返しで暑さは尋常ではありません。水の中も例外ではなく、普段は涼しい水中も、浅いところでは25℃をこえる温水プール並みです。

そんな、今年の夏の多摩川ですが、暑さにも負けず、魚たちは元気に泳いでいました。夏の多摩川自然情報館の月別イベントでは、アユをはじめ、タモロコやオイカワ、スゴモロコ、ヌマチチブなどさまざまな魚を確認しました。

さらに、こんな気候の中で、特定外来生物のククチバスがとれたのはびっくり。本来ククチバスは、冷水性の魚ですが、だんだん、日本の暑さに慣れてきたのかも・・・。



投網を使って採取する様子

持続可能な開発目標SDGsについてのリーフレットを発行

お知らせ

持続可能な開発目標SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すためのものです。

環境問題をはじめ、世界にはたくさんの課題があります。このリーフレットでは、小学校5年生から中学生を対象に、SDGsについて私たちができることを紹介しています。17の目標のうち、目標13には気候変動対策があります。気候変動は、私たちの食べ物や健康、自然災害にも影響する問題です。地球温暖化の進行による気候危機を防ぐために、できることを少しずつ実践してみましょう。市役所環境政策課の窓口、多摩川自然情報館で配布しています。調布市HP（右記QRコードからアクセス可）ではPDFデータでダウンロードできます。



ダウンロードはこちらから



SDGsパンフレット

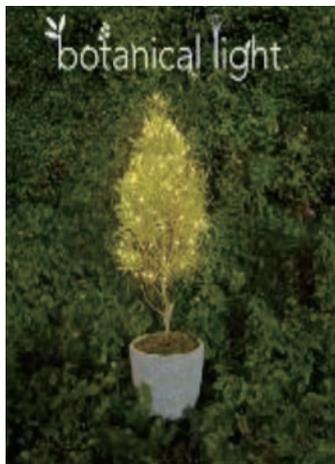
ボタニカルライトキャラバン

お知らせ

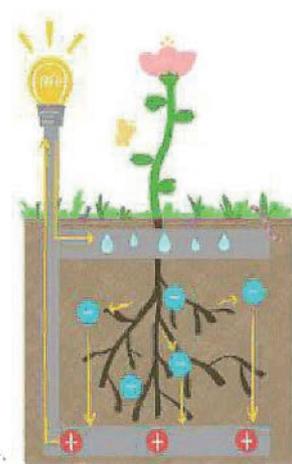
ボタニカルライトキャラバンは、令和4年3月26日（土）に開催された世界的ライトダウンイベント「Earth Hour」にあわせ、デニーズ調布店での点灯イベントを起点として、市内の公共施設等6箇所においてボタニカルライトを展示し、地球温暖化をはじめとした環境問題の啓発、市民の環境意識

の醸成を図ることを目的として実施したイベントです。

調布市は、一般社団法人サスティナブルコミュニティ共創機構が実施するこの取組を後援しました。イベント後のボタニカルライトは、調布駅前広場暫定公衆トイレ前に常設しています。



発光しているボタニカルライト



ボタニカルライト発電イメージ

～ボタニカルライトとは～

「ボタニカルライト」は、植物の成長エネルギーにより点灯する環境負荷のない新しい照明です。

植物は土壌に含まれる有機物と微生物が分解して吸収しやすくした栄養で生きています。ボタニカルライトは、その微生物が有機物を吸収する際に放出する電子を利用して発電しています。発電の際に排出されるものは水のみで、その水はまた植物に吸収されるという、循環型のクリーンなエネルギーです。電源がなくても植物が元気に育つ環境があれば電力を得ることができる未来のエネルギーです。

第50回調布市環境フェアを開催します

お知らせ

令和4年10月22日（土）午前10時から、市役所前庭において3年振りに環境フェアを開催します。

調布市環境フェアは、環境保全への関心と理解を深める場として、環境活動団体、環境活動に取り組む事業所等が、環境活動概要の展示や環境物品等の展示・販売等を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催内容などの詳細は、後日市報や市ホームページでお知らせします。



ゴヤたん



完熟ゴヤたん